

あした天気になあれ♪

～男も女も暮らしやすく～

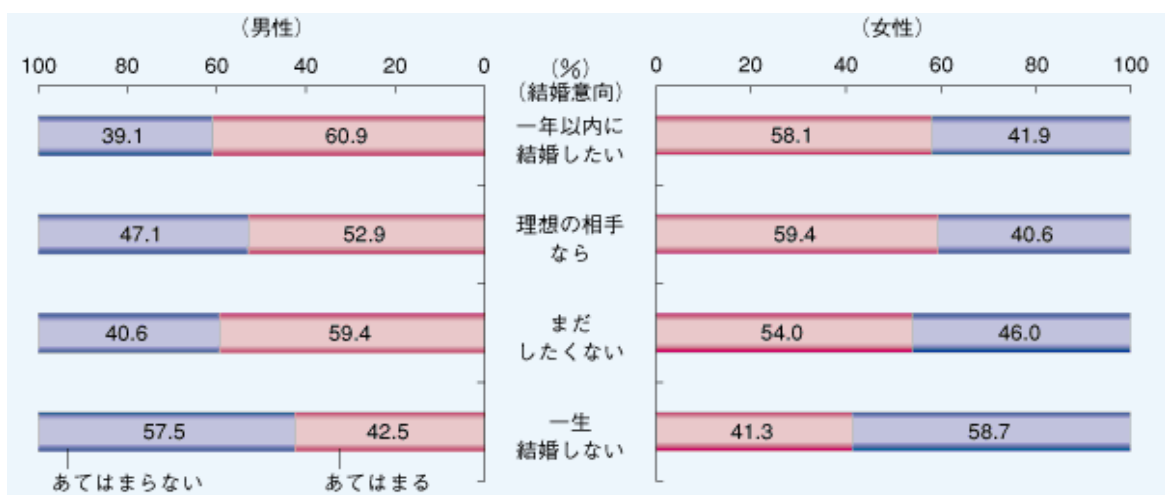
連載第3回

「両親の夫婦像と結婚願望」

わたしたちは、小さい頃から近くで見てきた両親の夫婦の姿を基準に、結婚観や自分のつくる家庭像をふくらませることがあります。

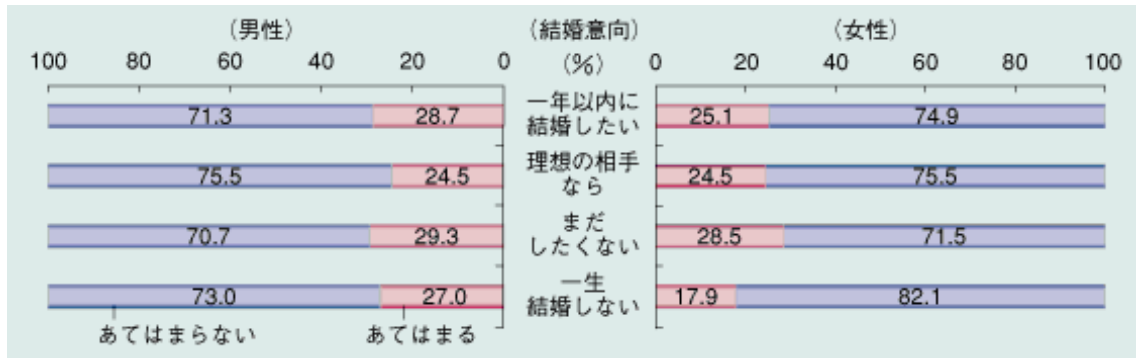
内閣府が行った「国民生活白書（平成17年版）」によりますと、【両親の夫婦関係をうらやましく思いますか】という問いに対して、「結婚するつもりがある」未婚者の半数以上がうらやましいと感じている一方、「結婚するつもりがない」人においてはうらやましいと答える割合がかなり低くなっています。つまり、親が子どもに対して家庭生活の中で見せてきた結婚生活が、うらやましいと思えるものであった方が、その子どもが結婚への意欲を持ちやすくなるとも考えられます。

（結婚意向別）両親の結婚をうらやましいと思うか



また、【あなたが子どもの頃、父親は家事をしていましたか】という問いに対して、男性の結婚の意向と父親の家事との間に明確な関係は見られませんでした。女性では「結婚の意向のある人」の方が「結婚しない人」に比べて、父親が家事をしていたと回答した割合が高くなっています。

(結婚意向別) 父親は家事をしていたか



未婚の女性たちは、結婚の良くない点として「家事に縛られる」を挙げており、父親が家事をしないという家庭に育ち、母の姿を自分の姿に置き換えた時、結婚に魅力を感じなかったのかもしれませんが。

両親に限らず、世の中には多くの夫婦がいます。夫婦のかたちは人それぞれですが、結婚してよかったことや、子どもであるあなたがいてくれて幸せだと感じたことなど、たくさんあるしあわせを伝えていくことが、家庭でできる非婚化や少子化対策につながっていくのかもしれませんがね。

「大きくなったらお父さん（お母さん）のような人と結婚したい！」「将来は両親のような夫婦になりたい」そう思ってもらえたら、親として最高のしあわせではありませんか。